



ポケットカルテについて

NPO法人 日本サステイナブル・コミュニティ・センター
顧問
北岡 有喜

医療サービスの現状

医師不足、社会高齢化による国家医療費高騰、利用者意識の高まりなどにより求められる医療と受けられる医療に差ができ始めている。

病院、診療所。内科、外科、産婦人科と色々通院したけど毎回病歴を問診される。
うまく**情報共有**できればいいのに…

去年の診断、病名は何だと言われたかな？
自分のカルテは**いつでも手元**にあればいいのに

A先生は手術しかないって言うけど、
他の先生の意見も聞いてみたい。
(セカンドオピニオン)
でも紹介状を書いてもらうのは気が引ける…

体重計、万歩計、血圧計は毎日測定してるけど、うまく**健康管理に生かせない**かな？
専門家に気軽に見てもらえれば…

転院すると、血液検査から全て**再検査**なのか。
時間もかかるし、お金もかかる。
負担が大きいなあ

ポケットカルテが目指す医療

医療情報を電子化し、活用することで解決できると考えました。

※今後、ポケットカルテに搭載予定の機能も含んでいます。

自分の情報は自分で医療機関に公開設定
できるんだな。
これならどの医療機関に掛かっても
簡単に**病歴**を見てもらえるぞ。

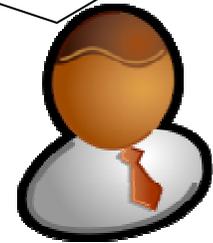


ブラウザからカルテを登録・閲覧するのか。
これなら**自宅からいつでもチェック**できるな。



緊急時には**救急車から
病歴を確認し、
迅速な治療に
役立ってます。**

個人の電子カルテを安全に保管します。
自分の判断で、公開情報・秘密情報に分類。
世界共通カルテフォーマット(HL7)を採用し、
どの医療機関でも保存・閲覧が可能。
電子署名技術(HPKI)を活用し、医師が作成し
たカルテはそれを証明できる。



どの医療機関でも使えるフォーマットなのね。
それじゃあB先生宛に情報を公開して
治療方針を聞いてみよう。

ポケットカルテ



「ポケットカルテ対応」の体重計も増えてきたな。
毎日、体重や血圧データを自動登録でき、
オプション加入すると**専門家による毎月レポート**
も受けられるのか。

ポケットカルテには、**血液検査やレントゲン画像**
なども登録できるのか。これで転院のときにも
再検査を省き、負担を減らせるな。



ポケットカルテとは

サービスの特徴

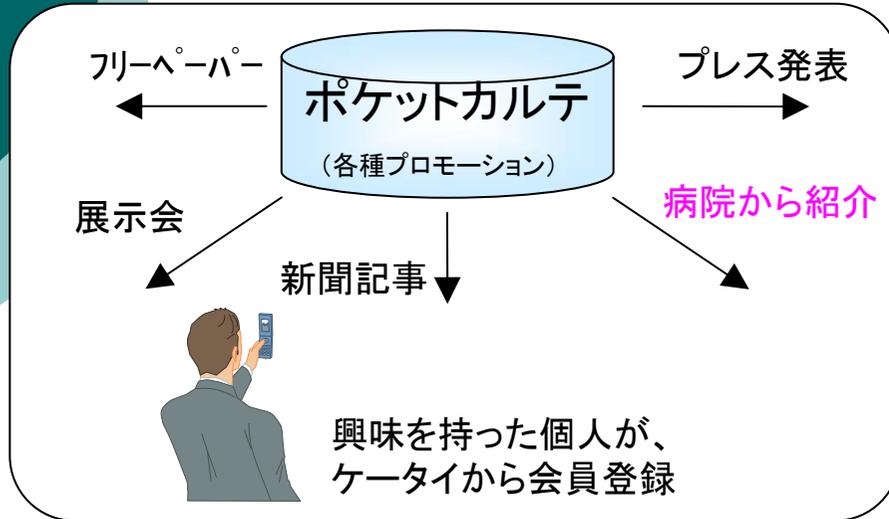
HL7(国際標準)形式の医療情報を安全に保管・作成する仕組みを提供します。
docomo・au・SoftBank・ウィルコムの手機から、日本全国から誰でも会員登録できます。
「〇〇病院を利用したときのみ」といった制限無し。オープンプラットフォームです。
(cf. 亀田総合病院事例)
利用料金は無料です。(今後有料オプションを追加する可能性は有り)
08年6月からβサービス、10月から正式サービスを開始し、09年1月16日現在で会員は1万人超。
会員登録後は、パソコンから医療情報の登録・作成などを行います。

取り巻く環境

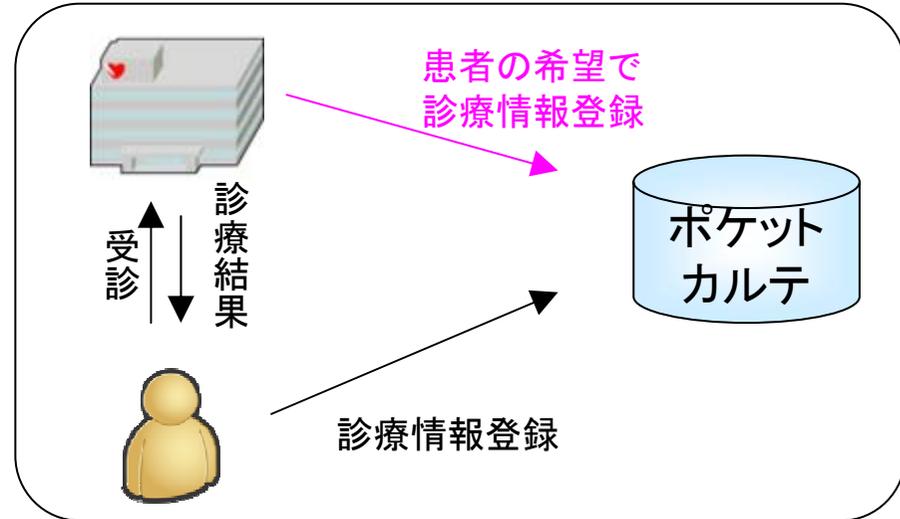
個人向けの医療情報管理サービス(PHR)は日本で初めてのサービスです。
プレスリリース直後からマスコミに取り上げられました。
(日経、日経産業、読売、京都新聞、Japan Medicine、L25、FMラジオ局JFN、CSテレビ放送「朝日ニュースター」など)
アメリカでもPHR(personal health record)サービスは注目を集めており、GoogleやMicrosoft等が参入。

システムの全体像

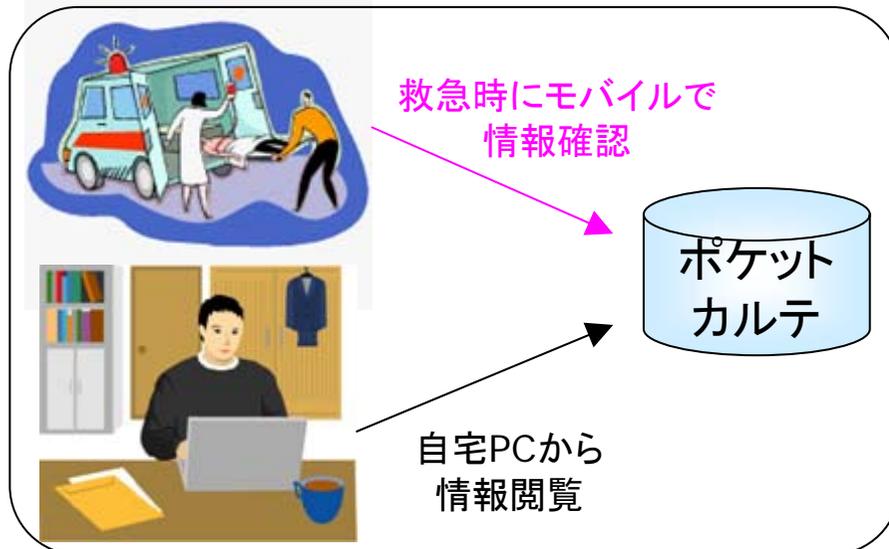
① 会員登録(プロモーション)



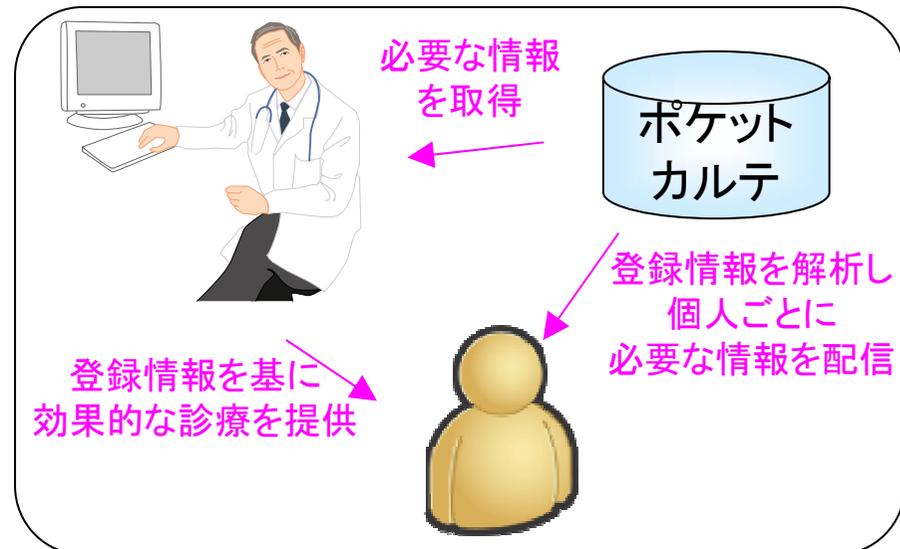
② 医療機関を受診



③ 日々の情報閲覧



④ 会員の健康をサポート



ピンク色は、将来構想

ポケットカルテの使い方

ポケットカルテの登録方法

お持ちのブラウザ搭載機種から、<http://pocketkarte.net/> にアクセスしてください。
表示された指示に従って進めていくと、会員登録が完了します。
(3クリック程度、情報を入力する画面などはありません。)

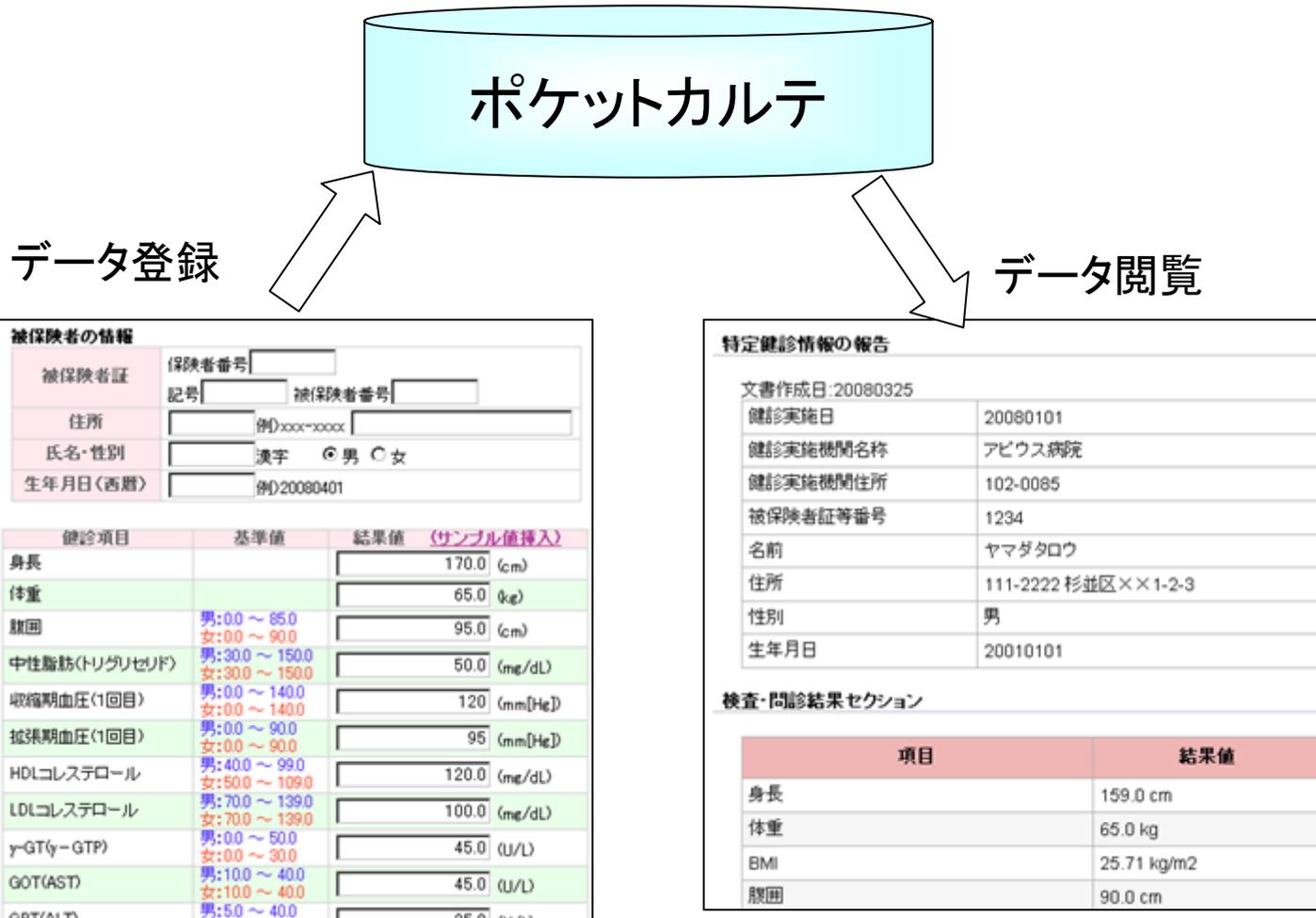
表示されたIDやパスワードを控えておくと、PCからもポケットカルテを利用できます。

ポケットカルテに登録すると・・・

今後、特定健診の受診結果が電子ファイルでも通知されるようになります。
ポケットカルテでは、この電子ファイルを保存・閲覧できる仕組みを提供します。

今後の機能追加により、今までに利用した薬の履歴や検査結果の登録ができるようになり、転院時の重複検査防止や、個人毎にテラーメイドされた健康情報の配信が受けられるようになります。

ポケットカルテ利用イメージ



現状、各病院でバラバラに管理され、本人の手の届かないところに管理されているカルテ情報を本来の所有者が自己管理できるような仕組みを提供する。

→ 病院のカルテから個人のカルテへ

ポケットカルテが普及すると

ポケットカルテ



日本人の疾病情報が
統計的に蓄積されていく。



脳卒中に罹った人の情報を解析していくと、
「上の血圧」の高さと脳卒中の因果関係はなく、
「下の血圧」の高さに脳卒中に関連性が見られた。



「上の血圧」をコントロールする従来の治療法に
一石を投じる結果が見つかったということ。

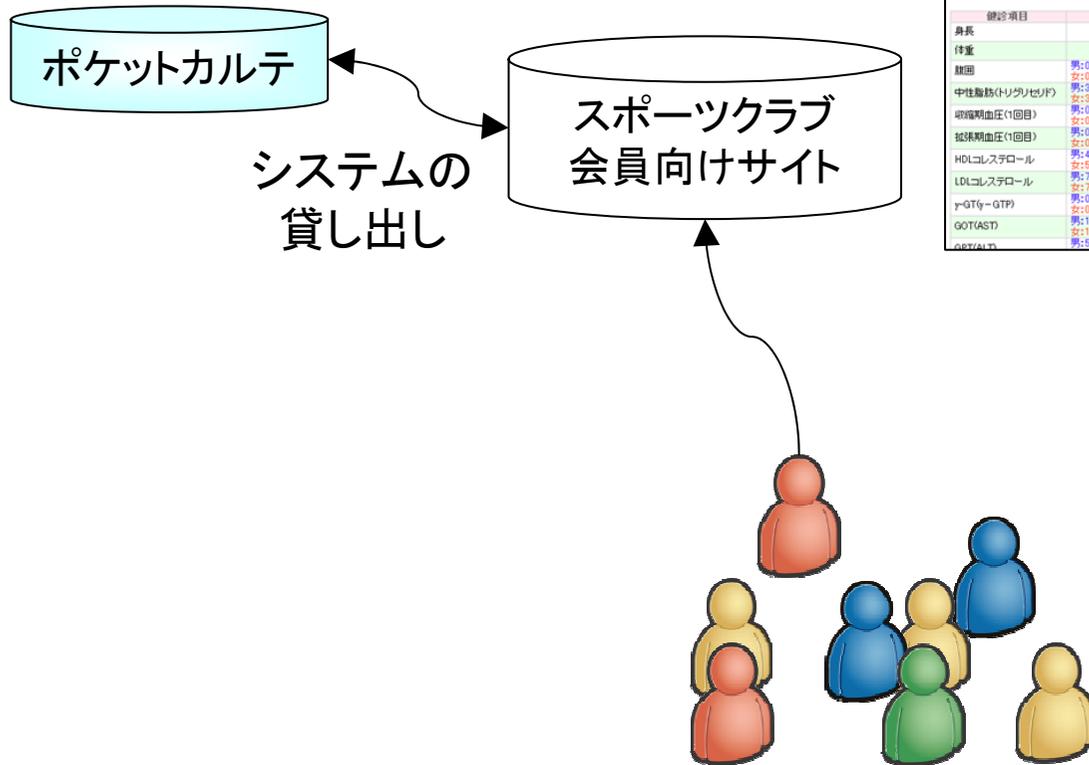
※内容は統計解析のイメージです。

ポケットカルテの普及により、
新しい治療方針の発見や、診療工程の最適化に貢献できるように

ビジネス化のイメージ① スポーツクラブ

ポケットカルテはオープンなプラットフォームとなることを目指しています。
この為、様々な企業にシステムを貸し出し、ポケットカルテの機能のみ活用していただくことも考えています。

スポーツクラブとのタイアップ



システムの
貸し出し

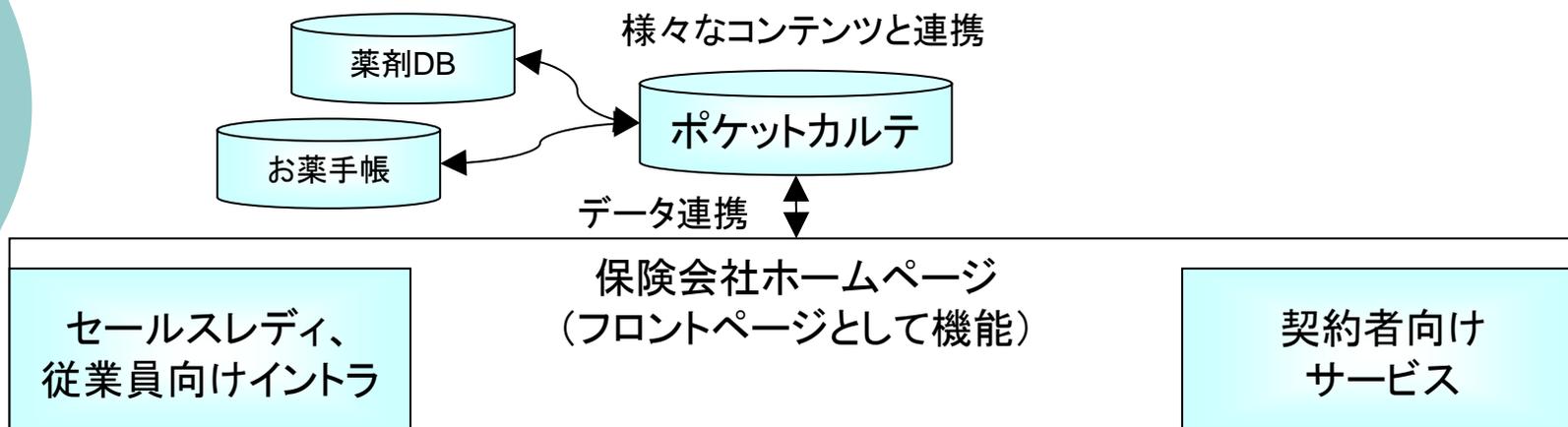
被保険者の情報			
被保険者証	保険者番号	記号	被保険者番号
住所	〒000-0000		
氏名・性別	漢字	男	女
生年月日(西暦)	99/20080401		
健診項目	基準値	結果値	(サンプル値挿入)
身長			170.0 (cm)
体重			65.0 (kg)
膝囲	男:60 ~ 85.0 女:50 ~ 90.0		95.0 (cm)
中性脂肪(トリグリセリド)	男:30.0 ~ 150.0 女:20.0 ~ 150.0		50.0 (mg/dL)
収縮期血圧(1回目)	男:100 ~ 140.0 女:90.0 ~ 140.0		120 (mmHg)
拡張期血圧(1回目)	男:40.0 ~ 90.0 女:30.0 ~ 90.0		95 (mmHg)
HDLコレステロール	男:50.0 ~ 109.0 女:50.0 ~ 109.0		120.0 (mg/dL)
LDLコレステロール	男:70.0 ~ 139.0 女:70.0 ~ 139.0		100.0 (mg/dL)
γ-GTP(γ-GTP)	男:0.0 ~ 50.0 女:0.0 ~ 30.0		45.0 (U/L)
GOT(AST)	男:10.0 ~ 40.0 女:10.0 ~ 40.0		45.0 (U/L)
GGT(ALT)	男:0.0 ~ 40.0 女:0.0 ~ 40.0		95.0 (U/L)

ポケットカルテを活用し、
会員向けサイト上で
健康情報、ジム利用情報
を表示する。

ジムを利用した月は、
血糖値、体重が下がっています！
などの可視化。

会員の困り込み、利用頻度アップ
などに活用。

ビジネス化のイメージ② 生命保険会社向け



・ポケットカルテの健康管理の仕組みを提供し、従業員の健康管理意識を高める。

・ウォーキング促進のプログラムにより、生活習慣病の改善効果を見込む

→健康増進により、健保組合の負担減
仕事の能率UP、活気のある職場環境

ポケットカルテの仕組みを活用して、契約者向けマイページを構築。

・ポケットカルテ機能で健康管理
→健康管理により死亡率が下がり、
保険金支払いが減少

・お薬手帳、薬剤DBを準備し、「あったら便利」を提供
・保険の見直し、シミュレーションの提案

・金融商品の情報提供など

**保険会社と契約者のつながりを深め、
満足度の高い製品へ
→安価な外資系保険との差別化**